

令和 6 年度牧草類優良品種選定試験 （イタリアンライグラス）

渡邊 朋子、藤井 耕児

Selection test for excellent variety of grasses （Italian ryegrass） （2023. 9～2025. 3）

Tomoko WATANABE, Koji FUJII

要 約

市販のイタリアンライグラス〔極早生 2 品種（さちあおば、Kyushu1）、早生 3 品種（はやまき 18、タチマサリ、INZ - 19）〕を栽培し、それぞれの収量について調査した。

その結果、12 月中に 1 回目の刈取りを行い（年内刈り）、翌春の 1 番草（春 1 番）、2 番草（春 2 番）の合計 3 回の乾物収量（kg/a）で比較したところ、極早生品種では「Kyushu1」、早生品種では「はやまき 18」が多収であった。

緒 言

イタリアンライグラスについては数多くの品種（銘柄）の種子が一般に販売され、さらには毎年数種の新品種の種子も発売されており、自給飼料生産者は、その種子の選択に苦慮しているところである。そこで今回、「飼料作物系統適応性検定試験実施要領」（改訂 6 版）に基づき栽培収穫し、それぞれの収量について調査した。

方 法

- 供試品種名：（計 5 品種）
極 早 生：さちあおば、Kyushu1
早 生：はやまき 18、タチマサリ、INZ - 19
- 播 種 日：令和 5 年 9 月 4 日
栽植様式：条播（畦間 40cm）、播種量：150g/a
- 1 区面積および調査面積：1 区 6 m²（2m×3m）、4 反復乱塊法
- 施肥量

肥 料 名	施肥日 月/日	施用量 (kg/a)	要素量 (kg/a)				方 法
			N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	
堆厩肥	6/19	300	0.26	2.70	4.00		全面散布
基肥 合計			0.26	2.70	4.00		
N K2	12/22	4	0.64		0.64		側条施肥
	4/11	4	0.64		0.64		側条施肥
追肥 合計		8	1.28		1.28		

結 果

- 気象概要（図 1）
気 温：9 月上旬から下旬は平年より高く推移したが、10 月から翌年 3 月は概ね平年並みに推移した。4 月は平年より高く推移した。
降 水 量：11 月下旬にまとまった降水があったが、9 月から翌年 1 月は平年と比べ少ない状

況で推移した。2 月下旬、3 月中旬から 4 月上旬は平年より多い降水量となった。
日照時間：降水量の多い時期は平年を下回ったが、概ね平年並みで推移した。

2 生育概要（表 1）

- 1) 発芽良否は 21 日後に調査し、全品種で高温少雨の影響を受けたと思われる。「タチマサリ」、「INZ - 19」、「さちあおば」の区画において野生動物の食害が発生したことから、定着時草勢の調査に影響を及ぼした。
- 2) 年内刈りでは倒伏はみられず、「はやまき」、「タチマサリ」の春 1 番草、「はやまき」の春 2 番草においてわずかに倒伏が見られた。
- 3) 極早生品種の「Kyushu1」は、年内刈り、春 1 番、春 2 番において、生草収量及び乾物収量が奨励品種「さちあおば」より多収であった。
- 4) 早生品種では「はやまき 18」が生草収量及び乾物収量ともに他の 2 品種よりも多収となった。

総 評

今回の結果では、イタリアンライグラスの極早生を作付する場合、年内刈り、1 番草、2 番草ともに「Kyushu1」が多収であった。早生においては、今回は「はやまき 18」が多収であった。これらの成績をもとに、それぞれの作付け形態や給与形態に合った品種の選定をし、自給飼料の増産に努めてもらいたい。

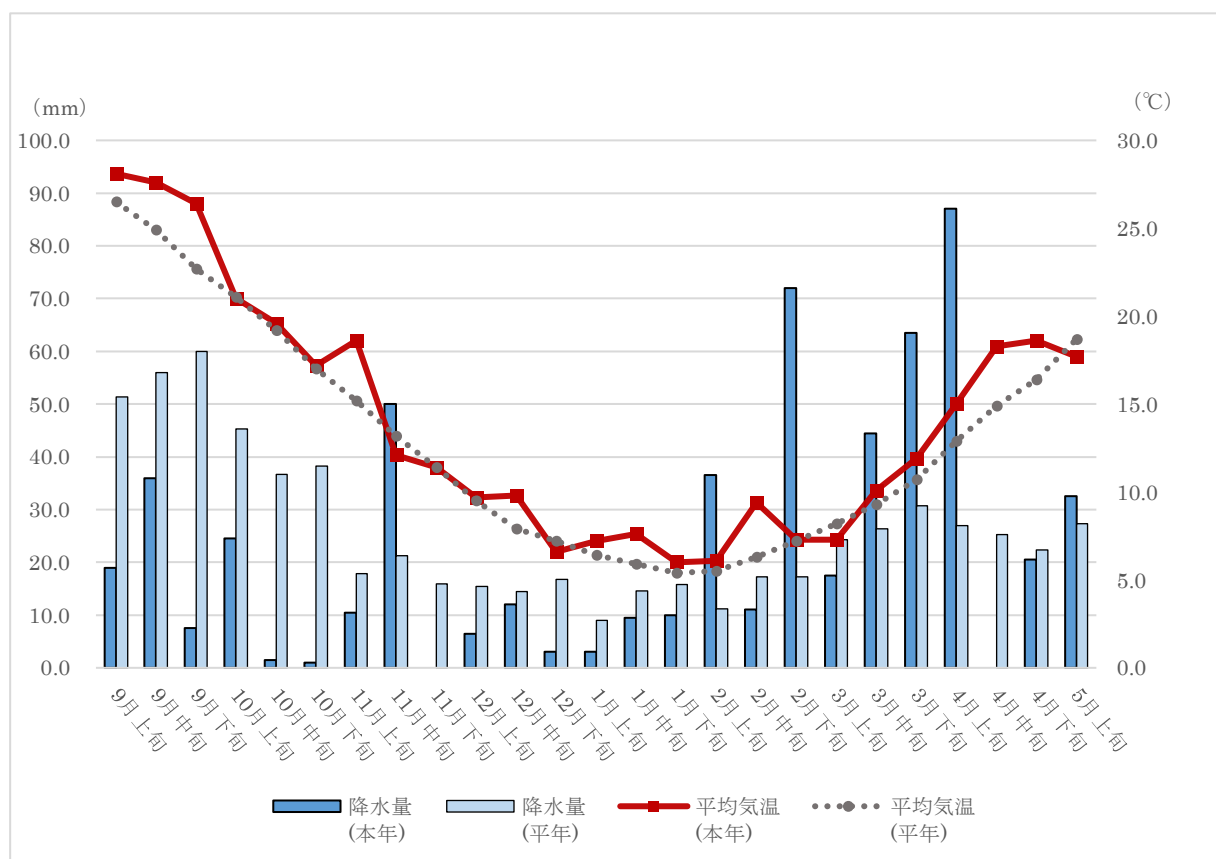


図 1 栽培期間気象状況（気象庁ホームページ高松市より、2023 年 9 月～2024 年 5 月）

令和 6 年度牧草類優良品種選定試験（イタリアンライグラス）

表 1 生育調査結果

調査項目	発芽 良否	定着 草勢	出穂始		収穫日			刈取時出穂程度 無 1、極多 9		
品種名	9/25 9 極良	10/27 9 極良	年内刈り	春 1 番	年内刈り	春 1 番	春 2 番	年内刈り	春 1 番	春 2 番
さちあおば	6.0	3.5	11/26	3/7	12/21	3/28	4/26	4.3	8.8	8.8
Kyushu 1	6.0	5.0	11/19	3/11	12/21	3/28	4/26	5.0	8.8	8.8
はやまき 18	5.0	5.0	—	3/27	12/21	4/11	5/9	1.0	2.8	5.8
タチマサリ	5.0	3.8	—	3/27	12/21	4/11	5/9	1.0	2.5	8.5
INZ-19	5.0	3.5	—	3/37	12/21	4/11	5/9	1.0	5.5	8.8
CV (%)	9.1	16.9	—	—	—	—	—	73.2	48.5	14.4

調査項目	倒伏程度 無 1、甚 9			草丈 (cm)		
品種名	年内刈り	春 1 番	春 2 番	年内刈り	春 1 番	春 2 番
さちあおば	1.0	1.0	1.0	77.1	97.7	84.3
Kyushu 1	1.0	1.0	1.0	91.1	101.0	90.0
はやまき 18	1.0	1.8	1.8	67.8	125.0	78.1
タチマサリ	1.0	1.8	1.0	61.1	127.7	89.4
INZ-19	1.0	1.0	1.0	56.0	118.2	81.7
CV (%)	0.0	28.3	26.1	17.6	10.8	5.4

表 2 収量調査結果

調査項目	生草収量 (kg/a)				乾物率 (%)				乾物収量 (kg/a)			
品種名	年内 刈り	春 1 番	春 2 番	合計	年内 刈り	春 1 番	春 2 番	平均	年内 刈り	春 1 番	春 2 番	合計
さちあおば	221.3	358.3 ^b	180.4	760.0	15.8	18.2	17.0	17.0	34.3	65.4 ^b	31.0	130.7
Kyushu 1	325.8	391.3 ^b	198.8	915.8	17.3	19.2	17.4	18.0	56.4	75.3 ^{ab}	34.7	166.3
はやまき 18	280.8	649.6 ^a	223.3	1153.8	15.6	18.4	15.9	16.6	43.7	119.8 ^a	35.6	199.1
タチマサリ	138.3	462.9 ^{ab}	195.0	796.3	17.9	20.6	15.7	18.1	24.4	95.0 ^{ab}	30.5	149.9
INZ-19	149.6	518.8 ^{ab}	206.7	875.0	17.4	20.5	16.9	18.3	26.2	105.6 ^{ab}	34.9	166.7
CV (%)	32.6	21.7	7.0	17.9	5.6	5.2	4.1	5.3	32.0	21.5	6.5	16.1

同一列の異符号を付した数値間に有意差あり（Tukey 法、 $p < 0.05$ ）